

表紙の写真から

薄紫色のじゅうたん一面に かたくり群生の郷

規模・密度ともに日本最大級といわれるかたくりの花は圧巻です。



4月18日から西木町の八津・鎌足のかたくり群生の郷が3年ぶりに開園しました。
西木町の特産品「西明寺栗」の20畝にもおよび栗園一面に広がる薄紫色のかたくりの花。じゅうたんのようなの美しい光景に訪れた方々は魅了されていました。

4月20日から5月5日まで角館の桜まつりが規模を縮小して開催されました。
新型コロナウイルス感染症対策によりオープンニングセレモニーや飲食屋台などの出店はありませんが、綺麗に咲き誇る桜を一目見ようと武家屋敷通りや松木内川堤を散策する人の姿が見られました。
開幕当初は咲き始めた武家屋敷通りのシダレザクラは22日、松木内川堤のソメイヨシノは23日に満開を迎えました。また、夜には3年ぶりにライトアップも行われ、日中とは違う幻想的な光景が広がりました。



角館榊細工伝承館前のシダレザクラ。

規模を縮小して開催



幻想的な光景が広がる夜桜のライトアップ。



桜のトンネルとなった松木内川堤のソメイヨシノ。

角館の桜まつり

角館 三二劇場

名曲の熱唱に酔いしれる

4月24日、角館庁舎で角館町在住の湯澤満さんによるアコースティックライブが行われました。

アコースティックギターとブルースハープで行われた今回のライブ。湯澤さんは、歌手・長瀬剛さんの名曲計10曲を熱唱。長瀬さんのデビュー曲「巡恋歌」や東日本大震災を思っで作られた曲「ひとつ」などを披露し、訪れた方々はその歌声に最後まで酔いしれていました。

昨年は角館交流センターでもライブを行ったという湯澤さん。「コロナ禍だからこそ自分と聞いてくださる方みんなが楽しい時間を過ごすことができるようにと思いながら歌った」と話しました。

Mitsuru Yuzawa Acoustic Live 2022



長瀬剛さんの名曲を熱唱する湯澤満さん。

令和4年度がスタートしました！

小学校143人、中学校163人の新生を迎え、令和4年度がスタートしました。入学式では、ちょっと緊張しながらも、新たな環境で頑張っていこうとする表情が見られました。今回はピカピカの小学1年生に、初めての授業、初めての給食などの感想を聞いてみました。

角館小学校 はしもとりくさん

きゅうしょくがはじまって、うれしいです。ハンバーグがおいしくて、かんしょくできました。

生保内小学校 かどわきりゅうせいさん

はじめてのきゅうしょくは、にくじゃがコロケがいちばんおいしかったです。ほいくえんのとくとおなじようにぜんぶたべられました。

西明寺小学校 くにやすたいちさん

こくごのほんで、もりのなかの「おおきなさかな」がしゅやくになってびっくりしました。「おもいでやま」に、きいろいすいせんのはなをみつけました。

松木内小学校 たなかあらたさん

たいいくかんでおいさん、おねえさん、ともだちとおにごっこをするのがたのしみです。

白岩小学校 おおのまおさん

はじめてごはんをたべたとき「しらいわしょうがっこうのきゅうしょくは、こんなにおいしんだなあ」っておもしろかったです。おつゆがあつたかて、「ふゆのときにもいいなあ」とおもしろかったです。

神代小学校 てるいひなのさん

こくごで、もじをかくべんきょうがたのしいです。たくさんのもじをおぼえて、あたまがよくなりたいたいです。



みんなもりもり食べています。

神代中学校

地域に元氣と活力を！

4月20日、神代中学校で「春の地域清掃活動」が行われました。神代中学校生徒会は、地域に元氣と活力を与えることを大きな目標としており、この活動は今年度の第1弾となります。

藤川椋太さんは、「意外とゴミが落ちていたものだなと思いました。活動を通して自分たちの町がきれいになって、みんなが喜んでくれるのは嬉しいなと思いました」と感想を語ってくれました。

また、生徒会長の高田菜花さんは、「神代中学校は、春の地域清掃、夏のアルミ缶・プルタブ回収、秋の抱返りクリンアップ、冬の除雪ボランティアを「四つ



さわやかなあいさつもとても気持ちよい神代中生です。

の柱」として地域に元氣と活力を与えたいと考えています。また、私たちの活動を通して少しでも地域が明るくなってくれば嬉しいです」と語ってくれました。これからも神代中学校生徒会の活躍にご注目ください。

校に導入される予定です。地域の皆さまのご支援とご協力をお願いします。

「コミュニティ・スクール」

市では、「コミュニティ・スクール」の実現を目指しています。これは地域と学校が、「子どもたち」のよう育ててほしい」といふ思いを話し合い、手をたずさえて子どもを育てていく学校のことです。4月5日に、西明寺小・中学校の先生方を対象として、その研修が行われました。

地域の皆さんは、仙北市の子どもたちどどのように育ててほしいと考えるのでしょうか？現代社会の課題や地域の課題が叫ばれる中、「こんな子どもを育てていきたい」といふ思いを地域と学校が共有し、一体となって教育に反映させていけば、素晴らしい成果が期待できます。

コミュニティ・スクールは今後順次各



先生方がコミュニティ・スクールについて勉強しました。

出された意見

- 教師は地域の方よりも地域のことを知らない。地域の方から支援を得ることが大切だ。
- 小学校6年間、中学校3年間を見通して、時期に応じた活動を整理することが大切だ。
- 都市部に出て行っても、地元のことを考えられるように育てていきたい。